

授業科目名 (英文名)	専門基礎演習 (Second-year Seminar)	科目区分 対象学生	
単位数	4.0	開講年次・ 学期	2
担当教員	野津 隆志	所属	政策科学研究所
オフィス・場所		連絡先	
講義目的及び到達目標	<p>1. ボランティア活動、国際NGOの活動、日本のNPOや市民団体などによる市民活動、社会貢献・国際貢献活動について様々な視点から多面的に学ぶ。</p> <p>2. フィールドワークによる学習(学生がボランティア、NGO、NPOなどの活動を現地で調査し、実際に活動に参加し、社会貢献の実際を体験的に学習する)</p>		
講義内容・授業計画	<p>1. ゼミの内容は大きく個別学習と共通学習とに分かれる。</p> <p>個別学習： 学生が自分で興味のあるボランティア、国際NGO、NPOなどの活動を見つけ、自分がボランティアをしたり、現場にいてフィールドワークをしたりして、研究課題を見つけて調査する。</p> <p>共通学習 (1)大学の教室で文献資料を使い社会貢献活動の理論を学習する。 例：開発途上国の子どもへのNGOの教育支援 外国から来た子どものためのNPOの教育支援 市民活動組織(NPO)のマネジメント、持続可能な組織形成 コミュニティ・ビジネス、ソーシャル・ビジネスなど社会的に意義ある働き方</p> <p>(2)実際のNPO・NGOの活動現場に出向き、見学・参加する体験学習(神戸市内で定期的に訪問予定)</p> <p>(3)フィールドワークによる研究方法を学習する。</p>		
テキスト	野津隆志『市民活動概論 - ひょうごとアジアのNPO・NGO・ボランティアを学ぶ』学術研究出版		
参考文献			
成績評価の基準・方法	発表、レポート提出、出席、実際の社会貢献活動への参加を総合判断する。無断欠席は厳禁である。		
履修上の注意・履修要件	ゼミでは実際の社会貢献活動に参加したり、フィールドワークをしながら学びます。また、学生の自主的なボランティアやフィールドワークが求められます。人とのコミュニケーションや現場体験に関心のある学生の受講を期待します。ゼミの授業時間だけ出席して単位を取ることはできません。		
実践的教育	該当しない		
備考			